

日本アクセスの約束

「いただきます」を つないでいく。

いつでも、どこへでも、

あたたかい食卓がもたらす幸せを
つないでいきたい。

私たちは「心に届く、美味しさを」
“まもる・つなぐ・つくる”ことで、
豊かな食を絶やさないことを使命に、
流通改革に挑み続けます。

美味しいごはんがいつでも
「あたりまえ」にあるために。



日本アクセスが皆様に届ける価値、その歩みと成果

編集方針

日本アクセスのこれまでの歩みとこれからのビジョンを踏まえ、「今」に主眼を置いた活動をレポート。主要な取り組みの内容と成果を、担当役員の言葉を交えて語っていきます。多様なステークホルダーが目を通すことを踏まえ、見やすさ・読みやすさにこだわった構成を目指します。

日本アクセスは2020年4月1日に「SDGs宣言」を行い、組織全体で共通の課題を認識し、持続可能な社会の実現を目指してさまざまな活動を展開しています。詳細は、本レポート30～46ページの「SDGsへの取り組み」で紹介しています。



WEBサイト

日本アクセス
<https://www.nippon-access.co.jp/>

日本アクセス「サステナビリティ」
<https://www.nippon-access.co.jp/corporate/sustainability/>

日本アクセス「経営計画」
<https://www.nippon-access.co.jp/keieikeikaku/>

日本アクセス「財務/電子公告/決算」
https://www.nippon-access.co.jp/corporate/financial_top/

報告対象範囲

日本アクセスグループ全体の活動

報告対象期間

財務情報は2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）。
ただし、その他の活動内容についてはそれ以降の情報も報告しています。

発行年月

2023年9月

CONTENTS

イントロダクション	2
トップメッセージ	4
沿革	6
日本アクセスの企業理念	8
第8次中期経営計画	10
Challenge 1. 食品卸としての機能強化	14
Challenge 2. 次世代卸の姿	18
Challenge 3. デジタルイノベーション	22
Challenge 4. インフラ投資	26
SDGsへの取り組み	30
労働環境	36
地球環境	39
社会貢献	44
食の安全・安心	46
ガバナンス	47
会社情報	50
役員体制	51
財務ハイライト	52

設立30周年を迎えて 今後の持続的な成長のために



代表取締役会長

佐々木 淳一

2023年10月、日本アクセスは設立30周年を迎えます。

1993年、雪印流通グループ5社が合併し、全温度帯をカバーするフルライン物流の広域ネットワークを構築すべく、サプライチェーンをつなぐ「アクセス」を名前の由来に「雪印アクセス」が誕生しました。あれから30年、食品流通業界を取り巻く環境は大きく変化したものの、当社はその変化やニーズを先取りし、強みを活かした商流・物流の機能提案を行い続けることで、2022年3月期には売上・利益とも食品流通業界 No.1の企業に成長することができました。

今後、次の30年、さらに次と持続的に成長し続けるために、SDGsに代表される長期にわたる社会的課題の解決に本業を通じて取り組み、社会の役に立つ企業であり続けることが重要と考えております。当社は2020年にSDGs宣言を行い、物流の労働問題や食品ロスなどの課題に取り組み、2022年度は経産省「令和4年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」物流構造改革表彰や、「第10回食品産業もったいない大賞」農林水産大臣賞を受賞しました。

変化の激しい時代において、ステークホルダーの皆さま

に当社の対応力、成長力を理解してもらうためには積極的な情報提供が必要と考えており、2022年度よりコーポレートレポートを発刊しております。従来の社会的責任を果たす「サステナビリティレポート」から、事業内容、財務情報などを追加し、サステナビリティなどの非財務情報を併せて、より「会社の全体像」を分かっていただけの内容にアップデートしました。皆さまから当社の活動に対して「共感」と「期待」を持ってもらえる機会になれば幸いです。

2023年4月、服部真也に代表取締役社長を交代し、当社は今年度から服部新体制にて新たな船出をいたしました。約7年間、代表取締役社長を勤めさせていただき、純利益を121億円から173億円に増やすことができたのは、当社社員一人一人の努力の成果、社外ステークホルダーの皆様からの多大なるご支援のお陰と感謝しております。今後も日本アクセスは常に新しい価値を提供し続け、業界のリーディングカンパニーとしてステークホルダーの皆さまから愛される食品卸であり続けてまいります。

「変革と挑戦」で、当社ならではの新しいビジネスモデルを



代表取締役社長
社長執行役員CEO

服部 真也

2023年4月1日より、代表取締役社長 社長執行役員 CEOを拝命しました。会社設立30周年という節目の年にこの責務を果たすのは、大変重責であり、身の引き締まる思いであります。厳しい経営環境ですが、「今までとは違う、他社にはできない、日本アクセスならではの新しいビジネスモデル」を作り上げるため、常にスピードを意識し、「変革と挑戦」に取り組んでいきます。

当社は2022年3月期より売上・利益ともに食品卸業界 No.1となりました。しかしながら今後の長期的な展望を考えると、日本の人口減少問題を考えることは避けて通れません。2060年には現在の3分の2程度に減少し、今年入社した社員が定年を迎える頃には、食品市場の30%以上が消滅すると予測されています。その中で成長を続けていくためには、絶えず変化する消費者ニーズを把握し、需要に応える「マーケットイン」の発想を持ち、食品卸としての機能強化と新しい次世代ビジネスの創出を複合的に進めていくことが必須だと考えています。

『コーポレートレポート2023』では、①商品開発強化、フルライン卸で進める「食品卸としての機能強化」、②情報

卸、次世代ビジネスで進める「次世代卸の姿」、③「攻め」と「守り」のDXで進める「デジタルイノベーション」、④物流課題を解決するフローズンマザーセンター、物流拠点整備計画、チルドプラットフォーム構想で進める「インフラ投資」について、具体的な活動を紹介していますので、今後の成長に期待していただきたいと思います。

また、食品卸5社統合で誕生し、その後も統合や再編を繰り返してきた多様なルーツを持つ当社が、仲間の心を一つにするための共通の価値観として社員自らの手で作り上げた企業理念、その企業理念を基に2020年に行ったSDGs宣言、食品ロス削減、食の安全・安心、ダイバーシティ、健康経営の推進といった具体的なサステナビリティ活動も多数紹介しておりますので、共感いただけると嬉しいです。

年に1回のコーポレートレポートは、ステークホルダーの皆さまとの大切なコミュニケーションツールと考えており、当社の活動をご理解いただく機会になれば幸いに存じます。今後もさらに皆様から信頼される企業となれるよう取り組んでまいります。

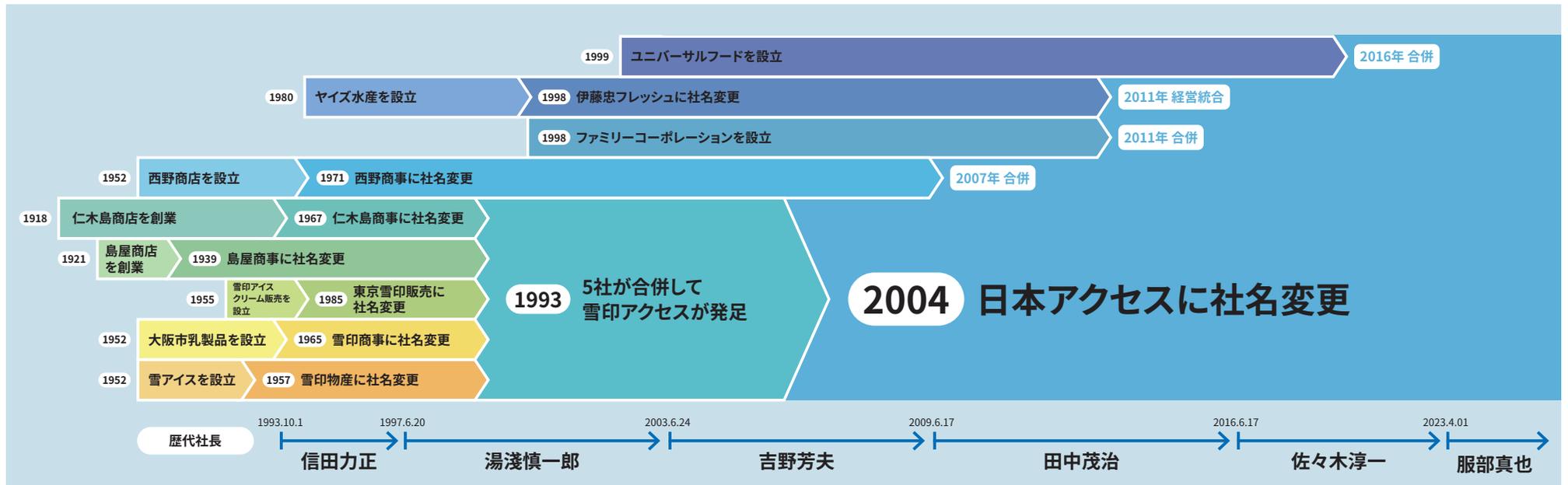
沿革

日本アクセスの歩み

日本アクセスが誕生してから今日までの歩みと、その過程で築き上げられた価値創造の礎たちをご紹介します。

当社のルーツは、それぞれに異なる歴史と強みを持つ5つの企業。それらが対等合併し、総合流通サービス業の担い手として歩み出したのは1993年のことでした。

以降、西野商事との合併、ファミリーコーポレーションとの合併、伊藤忠フレッシュとの経営統合、ユニバーサルフードとの合併などを経て事業規模を着実に拡大。6人の社長のもとの、その時代に応じた改革と挑戦を行いながら、今日の日本アクセスを築き上げてきました。



1918年	1921年	1952年	1955年	1980年	1993年	1998年	1999年	2000年	2002年	2004年	2006年	2007年	2010年	2011年	2013年	2016年	2018年	2019年	2020年	2022年
6月	10月	10月	3月	10月	10月	4月	3月	6月	11月	4月	6月	4月	3月	3月	4月	2月	4月	3月	4月	4月
乳製品卸売業「仁木島商店」東京都港区で創業（1967年「島屋商事」に社名変更）	バター専門店「島屋商店」大阪府大阪市（現「中央区」で創業）（1939年「島屋商事」に社名変更）	「大田市乳製品」大阪府大田市（現「中央区」に設立）（1965年「雪印商事」に社名変更） 「雪印アイス」東京都港区に設立（1955年「雪印物産」に社名変更）	「雪印アイス」東京都港区に設立（1955年「雪印物産」に社名変更） 「雪印アイス」東京都港区に設立（1955年「雪印物産」に社名変更）																	

沿革

価値創造の礎

Oct.1993

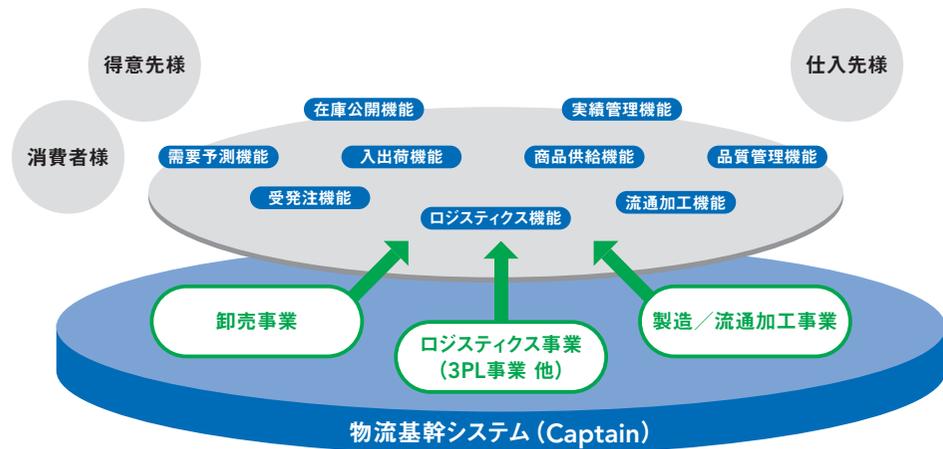
新時代のキーワード「アクセス」

5社統合により雪印アクセスが誕生

社名の「アクセス」には、①豊かな生活に貢献し、消費生活に「アクセス＝密着」する ②メーカーと小売業の架け橋をつくり、消費と生産の効率的な「アクセス＝手段」を提供する ③情報を高度に活用し、タイムリーに「アクセス＝接続」できるシステムを提供するという3つの決意を込めました。



Jun.2003 強固な基幹システム



基幹システム

Captain 開発始動

当社の事業を支える物流基幹システム、Captain。「需要予測」「受発注」「入出荷」「品質管理」「ロジスティクス」「流通加工」などの機能があり、お客様の多様なニーズに対応するとともに、新たなビジネスにも柔軟に対応する基盤となっています。

Apr.2004

常に心に6つの「C」

ACCESS

日本アクセス

日本アクセスに社名変更、ロゴマーク制定

宙に浮いた小さな「C」と、それを抱きしめるように隣り合う大きな「C」。「顧客 (Customer)」や「消費者 (Consumer)」から「信用 (Credit)」を得て、「対話 (Communication)」を深め「協力関係 (Cooperation)」のもと、「自信 (Cooperative)」を持って進み、日本の食文化の発展に寄与していくという6つの「C」を表しています。

Jul.2010 機会創出の場



フードコンベンション開催

お客様とメーカー様をつなぐ食の展示商談会「フードコンベンション」。2010年からスタートし、今や業界最大級の展示会として東日本・西日本の2会場で年2回開催しています。当社の戦略事業や機能、企画提案、地域商品の発掘なども行い、熱気あふれる商談イベントです (各エリア展示会も同時開催)。

多様なルーツの 仲間の心を 一つにするための 「共通の価値観」

食品卸5社をルーツに持ち、統合や再編を繰り返してきた当社。異なる会社でそれぞれの理念の下働いてきた社員全員が一丸となって取り組んでいくため、共通の価値観として設定されたのが企業スローガン「心に届く、美味しさを」をはじめとする理念体系でした。

ミッションとしては最も重要な品質・美味しさを「まもる」ことを第一優先とし、商品を顧客へいつでも、どこへでも「つなぐ」こと、そして美味しさの価値を「つくる」こと。そして判断に迷ったときや悩んだときに心の拠り所となる、6つのバリューを設定しています。

構築は 社員自らの手で

現在の企業理念が作り上げられたのは2012年から2013年にかけて。全社員のベクトルを合わせるため、各拠点の若手社員を中心としたメンバー19名が企業理念構築プロジェクト「櫛（たすき）」を立ち上げました。議論を重ね、思いを込めて、全社員が共有できる価値観を練り上げていきました。

企業スローガン 心に届く、美味しさを



ミッション

～私たちの使命～

まもる。つなぐ。つくる。

私たち日本アクセスは、
『まもる・つなぐ・つくる』ことを通じて働きがいを高め、
個々の力を結集することで、
人と食の未来への架け橋となります。

ビジョン

～私たちの目指す姿～

バリュー

～私たちの基本となる価値観～



情熱



挑戦



創造



誠実



尊重



感謝

日本アクセスの企業理念

「樺」から「L∞P」へ 活動を継続

企業理念浸透プロジェクト「L∞P」

理念として制定された後は、その浸透を図るための社内横断プロジェクト「L∞P」が始動。「樺」の思いを引き継ぎ、①当社の活動が社会貢献へつながることが見える化できる仕組みづくり、②当社の存在意義を社会に発信する新たな取り組みの創造、をテーマに活動しています。



活動事例



マイバリュー
シールの配布



企業理念VTRの作成、社内公開

展示会家族招待



西日本フードコンベンション



東日本フードコンベンション